Save the Children

紛争下の子どもを守るために、
あなたの手を貸してください



「死んでしまった友達もいるし、けがをした友達もいます。

いつも**一緒に遊んでいた友達**とは、**もう一緒に遊べない。**

お墓に行って、いつもそこで泣いています。」

― ハリードさん 12歳
イエメン



戦闘機から爆撃を受けた時、ハリードさんはスクールバスに乗っていました。彼は爆弾の破片によりひどい傷を負い、現在もその傷と記憶に苦しんでいます。この爆撃により、40人の子どもたちが死亡しました。犠牲になった子どもたちの大半が10歳未満の子どもたちでした。

爆撃後、ハリードさんは病院に運ばれましたが、意識不明の状態が25日間続きました。その後、この恐ろしい経験から回復するため、集中的に精神保健・心理社会的支援（こころのケア）を受けました。

彼の望みは、紛争が終わることです。そして彼の夢は、医師になって、子どもたちの治療をすることです。

今、この瞬間も、多くの子どもたちが**恐怖を感じ**ながら**紛争地域に暮らして**います



現在、世界では、およそ4億2,000万人の子どもたちが紛争地域に暮らしています。

この数は、2016年と比べ3,000万人近く増えており、過去20年で最も多い数と言われています*1。特に、アフガニスタン、イエメン、南スーダン、中央アフリカ共和国、コンゴ民主共和国、シリア、イラク、マリ、ナイジェリア、ソマリアの子どもたちが最も深刻な影響を受け、殺されたり、傷つけられたり、軍隊に徴用されるなど、さまざまな被害を受けています*2。

*1 『子どもに対する戦争を止める：21世紀の紛争下で子どもたちを守る（Stop the War on Children –Protecting Children in 21st century conflict）』より

*2 オスロ国際平和研究所（PRIO）の調査と、セーブ・ザ・チルドレンによる『子どもと武力紛争に関する国連事務総長年次報告書2017』の分析より

なぜ、今、**子どもたちへの被害が拡大・深刻化**しているのでしょうか

1つ目の理由は、
複数の勢力による紛争の増加です



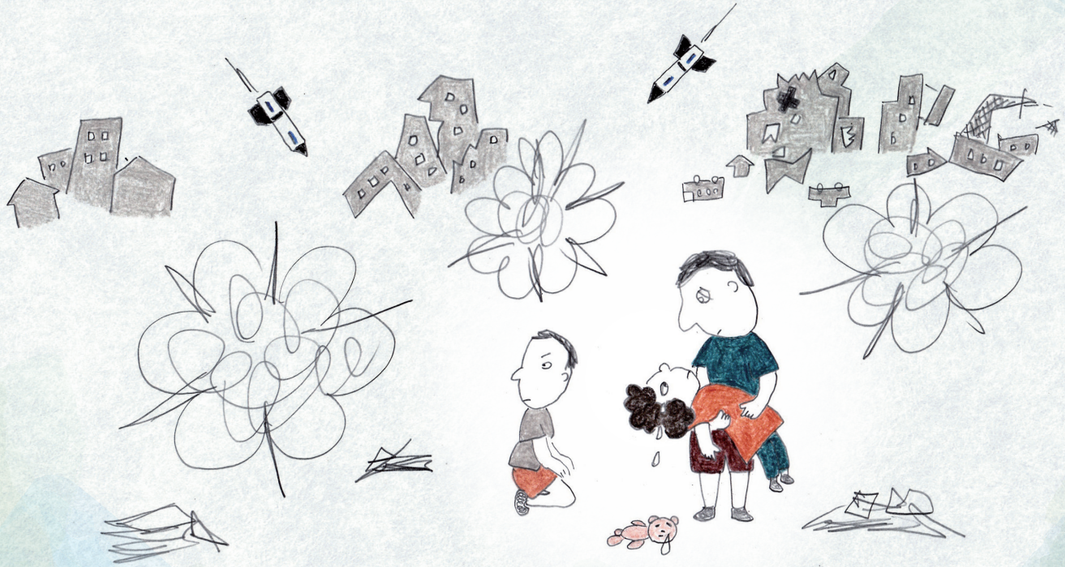
第一次世界大戦や、第二次世界大戦など、かつての戦争は「国 対 国」による対立が主なものでした。しかし、今世界で起きている多くの争いは、紛争が起きている国の政府の軍隊や、武装勢力や武装グループと呼ばれる勢力（非政府勢力）など、複数の勢力による対立で、多くの場合、国内で起きています。

こうした軍隊や武装勢力による対立（武力紛争）においては、子どもへの残虐な行為が、親や地域の人々を恐怖におとしいれます。そのため、暴力は戦術の手段として用いられてしまいます。さらに子どもは、兵士に徴用され戦いに参加させられたり、自爆テロなどの当事者として利用されることもあります。

2つ目の理由は、
紛争の都市化です

現代の紛争では、一般の人々が暮らす生活の場、つまり都市が戦場や戦いの前線となる傾向にあります。この背景には、世界の人口が増え、都市に暮らす人々が増えて都市の規模が大きくなったこともあります。

住宅などが密集するエリアで、攻撃力の高いミサイルや地雷などの「爆発型兵器」を使用した場合、被害は拡大します。このような攻撃は、命の危険だけではなく、攻撃されることへの恐怖心を人々にうえつけたり、病院や電気・水道などが使えなくなることで都市の機能低下を引き起こしたりします。病院で必要な手当が受けられないと、最も弱い赤ちゃんを含む多くの子どもたちが命を落としたり、栄養不良になったりします。



3つ目の理由は、紛争の長期化です



身近なけんかやいざこざを想像してみてください。けんかに関わる人が増えれば解決は難しくなり、自分や自分の大切な人が傷つけられれば相手を許すことは難しくなるでしょう。

世界の紛争も同じです。対立に関わる勢力が増えれば争いがより複雑になり、攻撃の被害が拡大すれば解決は難しくなります。実際、2011年3月に始まったシリアでの紛争は、8年経った今も続いています。紛争が長期化すると、戦闘の場となっている地域社会での生活は困難になり、家族との食事、学校への通学や友達との時間など、子どもたちにとって当たり前だったことは失われていきます。

どうしたら、このような子どもたちの状況に変化を起こすことができるのでしょうか

私たちは、世界のリーダーに次の3つの行動の推進を求めます

1つ目は、紛争下の子どもたちの安全を確保するためのルールを守ることの推進です

みなさんは、戦争や紛争下において国や武装勢力が守るべきルールがあることを知っていますか？ 最も重要なものとして、負傷した戦闘員や子どもを含む一般の人々を保護すること、また病院や公共施設への攻撃を禁止することなどを定めた「国際人道法」があります。これ以外にも、学校への攻撃や学校の軍事利用を制限する「学校保護宣言」などの国際的な基準が存在します。

しかし、今世界で起きている多くの紛争では、これらのルールや基準が守られていません。各国の大統領や総理大臣、また軍の司令官といった世界のリーダーたちの働きかけにより、紛争が起きている国の政府や武装グループがこれらの基準を守れば、子どもたちの安全が確保され、被害を確実に減らすことができます。



2つ目に、紛争の加害者に責任を果たさせることの推進です







殺人事件の犯人（加害者）が捕まり、裁判でその責任を問われ、法律によって公正に裁かれる様子をニュースや新聞で見たことはあるでしょうか？ 本来、紛争を先導し、人々を殺したり傷つけたりした国や武装勢力のリーダーも、犯した罪に対する責任を果たす必要があります。なぜなら、人には生きる権利があり、殺されたり、傷つけられたりしてはならないからです。

しかし、争いに関わる勢力が増えたり、紛争が長期化したりすると、加害者の責任を問うプロセスが非常に難しくなったり、あいまいになったりすることがあります。人々が悲惨な出来事を繰り返さないためにも、国際刑事裁判所などの仕組みによって、加害者の責任を問う必要があり、加害者は、事実に基づいて責任を果たす必要があるのです。

世界のリーダーたちはこれを推進する役割を担っています。

3つ目に、子どもたちを守るための支援を提供することの推進です

今、紛争下で苦しんでいる子どもたちにとって、彼らを守るための支援が必要です。例えば、食料や物資、保健・栄養サービス、教育の機会の提供や、紛争によって傷ついたこころを回復させるためのケアといった支援です。セーブ・ザ・チルドレンは、世界のさまざまな地域で、これらの支援活動を行っていますが、このような支援を実施するには、資金が必要です。そのため、日本のような国が率先して資金提供をし、紛争が起きている国の人々を助けることが国際社会の中で重要です。これらの資金をもとに届けられる人道支援が、平和な社会を生みだす土台となるからです。

もちろん、みなさん一人ひとりの寄付や募金も欠かすことができません。



この冊子を読んでいるあなたにも、「今」、協力してほしいことがあります



この冊子を読んだり、セーブ・ザ・チルドレンが主催する勉強会に参加したりすることで、世界の紛争の状況や3つの推進すべき行動について知り、理解を深めることは、紛争下の子どもたちの状況に変化を起こす一歩となります。

子どもたちを守るために推進すべき行動を、日本を含む世界中のリーダーたちが実行に移すため、どんなことができるか考えてみてください。

例えば、「署名」は有効な手立ての一つであり、また、紛争下を含む世界各地で子ども支援活動を展開するセーブ・ザ・チルドレンへの「寄付」も、その一つです。

ぜひご協力ください。

ウェブサイトからの
寄付・署名 →

私たちが力を合わせれば、紛争下の子どもたちの状況に変化を起こすことができるのです

世界では、今、この瞬間も、多くの子どもたちが紛争地域に暮らし、恐怖を感じています
子どもたちを守るために、今すぐ行動を起こす必要があります

紛争下の子どもを守るために、あなたの手を貸してください

STOP THE WAR ON CHILDREN.





私たちが力を合わせれば、
紛争下の子どもたちを守る
ことができます

#この手で止める

STOP THE WAR ON CHILDREN.

紛争下の子どもを守ろう

Save the Children

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F
TEL:03-6859-0070

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織です。
子どもの権利が実現された世界を目指し、100年にわたり活動しています。

2019年9月発行